

大安寺護寺会だより

平成二十四年一月一日発行第七号

発行責任者

大安寺護寺会理事長

北村 耕一

水子地藏尊像

大安寺蔵 水子地藏尊像

新春のご挨拶



天瑞山 大安寺 住職
大安寺 護学会々長

押見 俊哉

西暦二〇一二年(邦歴平成二四年壬辰・仏紀二五七八年)年頭新春を迎え、謹んで大安寺檀信徒の皆様のご清福と万福多幸をご祈念申し上げます。

檀信徒の皆様には、日頃より菩提寺であります大安寺の護寺の為に、ご理解とご協力を頂いておりますことに、改めて感謝申し上げます。

昨年の三月十一日に未曾有の東日本大震災が起こりました。この度の震災によって被災された方々にお見舞いを申し上げ、また犠牲となられました方々のご冥福を改めてお祈り申し上げます。

この日本は、火山国であります。火山地帯にあることから温泉が湧く恩恵もありますが、いつ何時噴火や地震が起こるかわかりません。

地震も火山も生きている地球の営みの現れですが、この度の震災は、大自然と付き合っていくには、自分にとって都合の良いこともあるし、手痛いしっぺ返しもあるのだということに気付かされたことでした。

大安寺の檀信徒(護学会会員)のお身内の方も被災された方がおり、更に犠牲となられた方もおられます。私共は巡り巡って何処かで繋がっているのです。普段は気付かないこのことに、この度の大地震によって気付かされた思いが致します。

昨年は震災のチャリティーを三度行ないました。一度目は、震災直後の春の彼岸会の法要の折。二回目は、五月二十一日にエク・セルシオの弦楽四重奏コンサート。三回目は、震災遺児の教育支援の為に、腰塚勇人氏をお招きしての教育講演会を十月二十九日に行ないました。

法要は自分自身の信仰、そして亡き人への感謝の為に行なうものですが、他に苦しみ悲しんでいる人々の思いを汲んで、助けとなるようにと施す(チャリティーに参加する)ことは、仏教徒としての大切な修行(菩薩道)であります。

お釈迦さまは、この世の中は『相依(そうえ)相関』であると説かれました。自分一人だけでは、私は存在しえない。助け合って、助けられて私達は生きていけるのです。

この思いを今年も抱きながら、この一年を過ごしていきたいと思えます。

本年の皆様にとって素晴らしい年であることを重ねて祈念申し上げます。



写経とは



大安寺 僧侶

押見 清純

写経とは読んで字の如く「お経を写す」すなわち書写することです。

印刷技術がなかった時代に僧侶達が、経典を書き写したのが始まりと言われている。

あまりにも忙しい現代、ストレス社会ともいえる中で、落ち着く場所を探したり、心の安らぎを得たいときに写経をする。

無心に書写するという行為が、安心感を覚え心のリラククスになります。

本来の写経とは印刷技術がなく手段としての書写と、ありがたい経典を学ぶ上での仏道修行が目的でありましたが、誰しもがその集中する時間には何事も考えず呼吸だけを感じて無心になる、坐禅にも通じる貴重な時間となると思われます。そして祈願する方法としての写経、世界の平和、先祖供養、

病魔退散、商売繁盛、水子供養等の心からの思いを、筆を執り写経することで自分を養い、今生きている有り難さを自覚する時間を持つ、この事が大事なのです。

写経で一番多く用いられているのは、般若心経です。文字数も二百七十六文字で、約一時間ほどで書写できます。

経典(お経)は、仏陀(み仏さま)がお悟りになられた、この世の真理、真理が文字になったものです。そこには、苦しみの原因、理想の姿、そして、そこへ至る道筋が説かれています。

あなたが、悩んでいる時、苦しい時、悲しい時こそ一度ゆっくりとお経にふれて写してみませんか。興味のある方は、別紙に詳しい実施日時をのせておりますので、是悲お寺にお越しください。



なぜ鏡餅というの？

鏡は、もと円い形をしていたので、その形になぞらえて鏡餅といわれます。

鏡は神仏のように曇りのない澄んだ心をあらわします。その心を餅に託して神仏への供え物としたのでしよう。

もつとも餅をモチというのは、望月(満月)の名から来たといわれています。

鏡餅は平安時代に始まり、元旦に餅を食べて歯を固めるといふ「歯固め」の祝いの行事から来たといわれています。

地方により鏡餅を六月一日まで保存し、歯固めの餅として食べる風習があります。

鏡餅の内なる声と 聴かんとす

作 山田みづえ

平成二十三年七月からのお寺の行事

地蔵供養祭

七月二十四日（日）午前十一時から大安寺において地蔵供養祭が行われました。お地蔵様の縁日に因み、交通安全の祈願をいたしました。併せて忠魂碑に祀られている戦死者の供養と、本堂において観音様へのお参りもいたしました。



盂蘭盆会

八月十六日（火）午後一時から大安寺本堂においてご先祖や亡き人の御霊を迎え、丁重におもてなしをして差し上げました。施食会という供養にて有縁無縁の精霊に供養いたしました。



両祖報恩会速夜

九月七日（水）午後六時より大安寺本堂で両祖報恩会速夜の行事が行われました。曹洞宗を開かれ道元禅師様、曹洞宗発展の礎を築かれた瑩山禅師様両祖の偉大な恩徳を讃え感謝する法会。

蠟燭の灯で御先祖を供養する「万灯供養」を行いました。大本山布教師様の説教でお速夜は終わりました。





大本山 布教老師
三重県 伊賀市 広禅寺 住職
武田 宏道 老師

りよう そ ほう おん え しょう とう
両祖報恩会 正当

九月八日（木）午前一〇時から
大安寺本堂で両祖報恩会正当の行
事が行われました。両祖報恩会は
年間を通じて最も厳粛で盛大な法
要です。大安寺歴代住職の報恩供
養と「特別大施食会」でご先祖供
養をいたします。



しゅう き ひ がん え
秋季彼岸会

九月二十三日（金）午後一時か
ら大安寺本堂で秋彼岸会・水子供
養が行われました。
お彼岸は、仏教の教えを実践す
る期間であります。



しゃく そん じょう とう え
釈尊成道会

十二月八日は、お釈迦様が悟り
をお開きになられた日です。
お釈迦様が「御仏」となられた
この日こそ仏教の起源といえます。
宗門ではお釈迦様の苦行を偲び
十二月一日より八日朝まで一年で
最も坐禅の行を行います。

大安寺梅花講創立三十五周年記念



大安寺梅花講
講員長
千葉寿美

昭和五十二年七月一日に前任職の押見香積師によって大安寺梅花講が設立され、早三十五周年を迎えました。



大安寺梅花講創立三十五周年記念式典には大安寺梅花講長押見俊哉方丈さま、禅峯寺住職安藤英明老師をお迎えして大安寺本堂、大広間にて行われました。
大安寺梅花講では皆様方、多くの参加をお願いしています。

大安寺護身会理事の活動

お寺の行事に出席して、お手伝いをしています。本堂・納骨堂の掃除、発送物の袋づめ作業・広報紙の作成等を行っています。



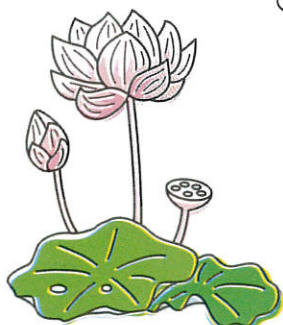
在家得度式

平成二十四年五月八日(火)釈尊
降誕会法要の前、午前十一時より
大安寺本堂において「在家得度式」
を行います。

本来戒名は亡くなってからの葬
儀の時に付けてもらうものではな
く、生前に戴くというのが檀信徒
として信仰を持つ者の望ましい姿
であります。

この勝縁に得度の式を受けられ
ますようお願い致します。

○お問い合わせ・申し込みは
三月三十一日まで
大安寺まで



大安寺婦人会の活動

大安寺婦人会は新役員のもと、
お寺の行事ごとに参加し、昼食の
支度、研修会等幅広い護寺の活動
を行っております。



初詣

もうすぐ新年です。初詣です
ね。

大安寺では元朝詣「元朝般若
祈禱会一月一日午前0時より」
毎年行われています。

大晦日の夜に耳にする「除夜
の鐘」とはその一年の罪を反省
し、新たな清い心で新年を迎え
る準備の時間です。

そして「元朝般若祈禱会」を
行い、その年の新たな門出を祝
い、皆様の幸福をお祈りします。



「命の授業」チャリティー講演会

平成二十三年十月二十九日(土)午後二時から、恵庭幼稚園二階ホールで大安寺主催のチャリティー講演会がありました。講師の腰塚勇人先生の「命の授業」を多くの方が聞き、あらためて命の大切さを感じた講演でした。

寄せられました善意は東日本大震災による震災遺児の教育支援基金に全額寄付致しました。



腰塚勇人先生は講演の中で五つの誓いを話してくれました。

「口」は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう。

「耳」は、人の言葉を最後まで聞いてあげるために使おう。

「目」は、人の良いところを見るために使おう。

「手足」は、人を助けるために使おう。

「心」は、人の痛みがわかるために使おう。

広報部より

年に2回、大安寺護寺会だよりを発行しています。護寺会員皆様のご意見ご感想をお聞かせ下さい。

〒061-1424
恵庭市大町4丁目2-25
大安寺広報部あて。

平成二十四年上半年期の
大安寺行事予定

- 一月一日(日)午前〇時
元朝大般若祈祷会
- 二月三日(金)午後六時
厄払い追儺会
- 二月十五日(水)午後一時
釈尊涅槃会
- 三月二十日(火)午後一時
春季彼岸会
- 五月八日(火)
在家得度式 午前十一時
釈尊降誕会 午後一時